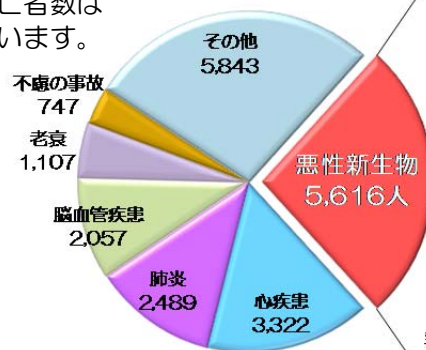


死因の第一位は“がん”です！

岡山県の2012年の死亡者数は21,181人。そのうち26.5%の方ががんで亡くなっています。

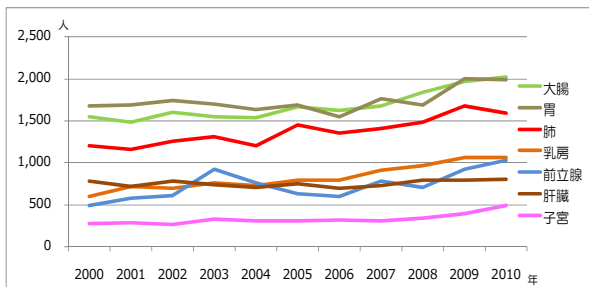
岡山県では昭和57年に悪性新生物がそれまで死因の1位だった脳血管疾患を抜いて以降、31年連続で死因の第1位となっており、がんによる死亡者数は年々増加しています。



岡山県における死因 (2012年)

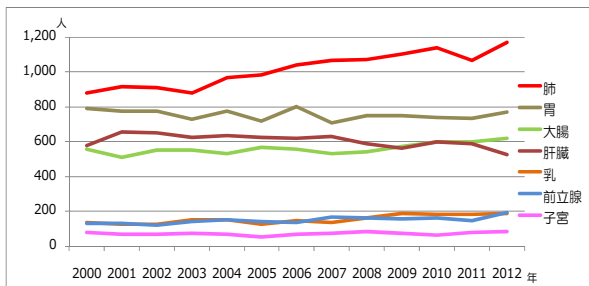
厚生労働省人口動態統計より

がんにかかった人の数の推移(2000年-2010年)

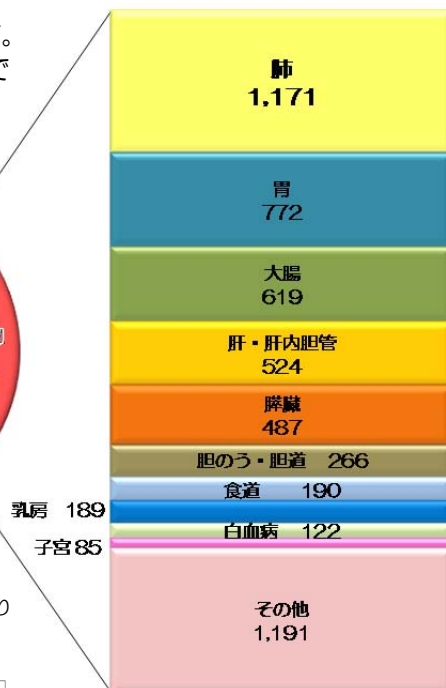


岡山県におけるがん登録より

がんで亡くなった人の数の推移(2000年-2012年)



厚生労働省人口動態統計より



岡山県で2012年にがんが原因で亡くなった人の部位別の割合では肺がんが1位です。

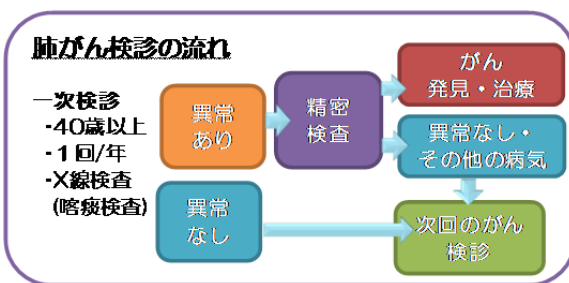
岡山県で肺がんにかかる人の数は大腸、胃に次いで3位ですが、肺がんで亡くなる人の数は大腸、胃よりもはるかに多く、しかも増え続けています。

肺がんは他のがんに比べて進行が早く、初期症状を自覚しにくいいため、症状に気付いた時には転移している場合が少なくありません。したがって、定期的に検診を受けて早期発見することが重要です！

肺がんを早く見つける！

肺がん検診や人間ドックなどで肺がんが見つかった場合は、半数以上が早期（Ⅰ期）で発見出ていますが、自覚症状が出てから受診した場合にはかなり進行している（Ⅲ期・Ⅳ期）ケースが多いことが分かります。

したがって、生存率も検診で発見された場合の方がかなり高くなります。

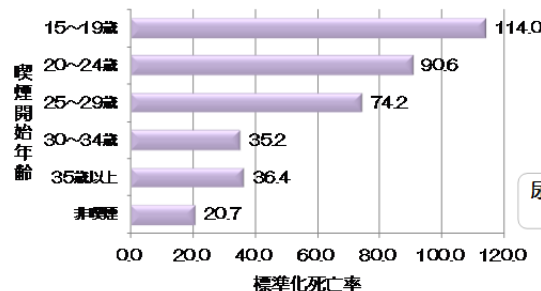


がんを予防する！

喫煙は肺がん発生の危険因子のひとつです。特に未成年期からタバコを吸い始めた人の肺がんによる死亡のリスクは、吸わない人の5.5倍にもなります。また、タバコを吸う人だけでなく、受動喫煙（他の人のタバコの煙を吸うこと）などでもリスクは高くなります。さらに、喫煙は肺だけでなく、全身のいろいろな臓器のがんの死亡リスクを高くします（男性では、がんにかかる率が30%増加するといわれています）。

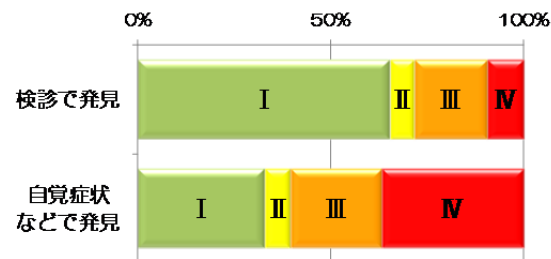
タバコの煙を避け、適度な運動、野菜を摂り、規則正しい生活など、がんにかかりにくい身体づくりを心がけ、早期発見のために定期的に検診を受けましょう！

喫煙開始年齢別肺がん標準化死亡率 (人口10万対・男)



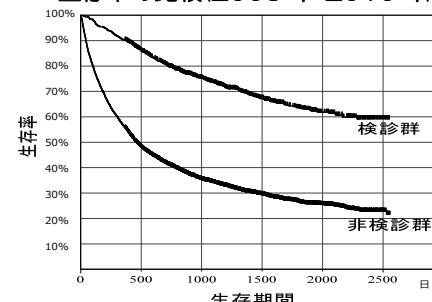
平山 雄ら (1966年~1982年)

肺がん診断時の進行度割合 (2010年)



岡山県地域がん登録より

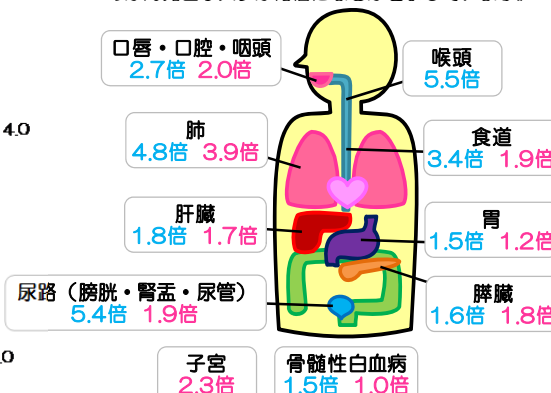
生存率の比較(2005年-2010年)



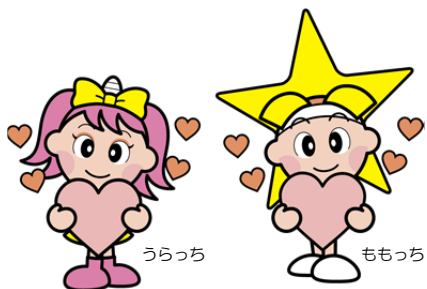
岡山県地域がん登録より

喫煙とがん死亡のリスク (男女)

タバコを吸わない人を1として、タバコを吸う人のがん死亡リスクが何倍になるかを示しています。



Journal of Epidemiology, 18:251-264, 2008 (1983年~2003年) 一部改変



岡山県マスコット ももち うらっち

○独立行政法人国立がん研究センターがん対策情報センター ～がん情報サービス～

<http://ganjoho.jp/public/index.html>

○岡山県がん患者支援情報提供サイト～岡山がんサポート情報～

<http://www.pref.okayama.jp/hoken/cancer/>

がんの予防について

http://www.pref.okayama.jp/hoken/cancer/knowledge/cancer_prevention.html

○岡山県がん診療連携協議会

<http://www.okayama-ganshinryo.jp/>

○Minds (マインズ) ガイドラインセンター

http://minds.jcqh.or.jp/n/public_user_main.php?main_tab=1&menu_id=1

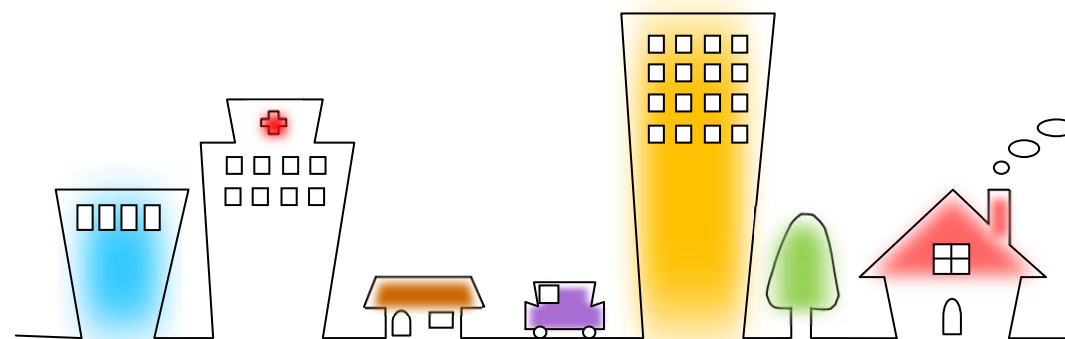
岡山県庁 〒700-8570 岡山市北区内山下 2-4-6

保健福祉部 医療推進課 疾病対策推進班 Tel: 086-226-7321

健康推進課 健康づくり班 Tel: 086-226-7328

岡山県地域がん登録室 (岡山大学病院内)

Tel: 086-235-7995



岡山県